

江東未来会議
第5分科会（行財政運営・協働）
第4回 議事概要

日時：平成19年11月29日（木）19:00～21:00

場所：江東区役所7階 第73・74会議室

参加人数：16人

1. 開会

2. 本日のワークショップの進め方について

○田中コーディネーター

資料「討議の流れ」を用い説明

- ・本日は前回の討議結果を踏まえ、現状の問題とそれを改善していく具体的な施策を検討してほしい。
- ・Bグループは前回「わかりやすい行政」をあるべき将来像として掲げたので、本日は「わかりにくい行政」という問題点を掘り下げ、その問題点を改善していく具体的な施策を検討していくということである。
- ・問題点と具体的な施策案については時間を分けて順番に討議してもよいし、並行して討議していただいてもよい。ただし、両方について検討するようにしてほしい。

3. ワークショップ

（1）重点テーマごとのグループ討議（課題の抽出・整理、施策・事業等の検討）

○田中コーディネーター

- ・次回の討議でグループ討議は終了になるので、今日と次回の2回で具体的な施策・事業等の提案まで討議しつくせるよう時間配分をお願いしたい。
- ・具体的な施策・事業案については、あとで提案をグルーピングしやすいように、区民がやること、事業者がやること、区がやることなどと分けて提案してもらおうとよりよい。
- ・また、最終的には各グループの目指すべき将来像を的確にあらわすキャッチフレーズのようなものも頭の隅に置きながら討議を進めていただきたい。

【グループ別に討議】

討議結果は別紙（「第4回 江東区グループ討議記録～行財政・協働～」）参照

（2）発表

○田中コーディネーター

- ・それでは本日の討議結果を全員で共有するため、グループごとに発表をお願いしたい。
- ・なお、発表の際には目指すべき将来像、将来像に向けた現状の問題点、問題を解決していく具体的な提案がそれぞれわかるように発表をお願いしたい。

○Bグループ

- ・「わかりにくい行政」を問題点として討議を進めてきた結果、大きく3つの課題に整理できた。1つ目は「職員全体の認識、ビジョンの教育の必要性」、2つ目は「区民と行政が一体となって解決していくことの必要性」、3番目は「区役所を効率化していく必要性」である。
- ・これらの課題を解決していくための施策として、まず新たな立場で、コーディネーターを育成してはどうか。例えば区民から4名、職員から4名を選出し、協働で問題について、縦割りでなく、解決する方向を出してはどうか。
- ・2つ目は、インターネットの有効活用である。広報的なものでも有効であると思うし、意見集約をしていく上でも有効であると思う。最後に区報の改善である。既にかなりよい区報になっていると思うが、さらに豊かにしていく。例えば、区報で随筆が載るなど区民参加の区報にしてはどうか。
- ・最後のスリム化の問題であるが、1つは将来的な展望として短期、中期、長期の方向性を明らかにしていくこと、それから各部や課・係でやっている仕事が、何をやっていてどこまで達成しているかわかりやすく公表して欲しいということである。
- ・これらを取りまとめる改善策としてはインターネットや区報の有効活動であると思っているが、インターネットや区報は3つの問題点を解決に導くためのツールに過ぎない。
- ・このツールを使って発信していくためのソフトの取組が重要であり、区民がやるもの、区がやるもの、事業者がやるものといった形で分けて、それぞれが担える部分を担うような形で議論を深めていければどうかと思っている。

○Aグループ

- ・問題点の洗い出しと問題点に対する抜本的な対策の検討を行った。行政の評価システムがあるが、いろいろな事業があり、その事業に対して評価を実施しているが、この評価システムを知らない人がほとんどであった。
- ・評価システムの問題点として知らない、難しい、職員の自己評価に終わっているのではないか、評価基準がはっきりしないなどの点の他、少なくとも区民が参画していないという問題点を含んでいる現状である。
- ・それに対する改善策としては、区民参画を得るために、細かい話については評価の基準を作る。まず、区民が勉強をする。これを集めた形での「〇〇事業の検討会の設置」でそこに区民が参加して、評価を行っていく。
- ・新しい評価システムの条件として、例えば、オンブズマンでは難しいのではないか、区

民が参加する形でやるとか、言いたい放題にしないなどといった意見が出ている。

- ・また、評価システムを作ったあとで、途中で広く区民にパブリックコメントをして、その意見も反映していく形にしてはどうかということになっている。
- ・今後 10 年間を考えたとき、実施をしたあと 10 年間放っておくのではなく、中間評価をしていくことが大事であると考えている。
- ・以上が財政評価システムの問題点と抜本的な解決策である。次回、それぞれの内容を詰めていきたいと考えている。

○田中コーディネーター

- ・今回は全体を包括するようなタイトルも検討していただけるとよい。

○Cグループ

- ・参画について議論してきた。協働・参画は行政、区内事業者、区民。区民とはNPO・専門有識者のほか、区内通学・在勤者、外国人を含めて定義している。
- ・参画を実現していくためには、問題点としては煮詰めが足りないが、10年後にあるべき江東区にしていくためには、本当の協働と参画が実現できているかという視点でさわりだけ考えた。これから次回、議論を詰めていきたい。
- ・本当に参画していく方法として、順序はいろいろあるが、まず公共施設の運営を区民と事業者との協働によってやってみたい。児童館、スポーツ会館、図書館、特養ホームなども含めて、文化センター、公園の管理などは、近々にやっていくべきである。ただし、どこまでの施設を民営化していったらいいのかということは次回検討していきたいと思っている。
- ・審議会のあり方についても疑問がある。できるだけ公募、ただ会の性格もあるので全部を公募にはできないが、選定方法についてはすべて明らかに公開していくべきである。開かれた審議会にしてほしい。
- ・Bグループでも提案されていたが、Cグループでも区報のあり方を改善していきたいと考えている。区報の1ページは区民のページとして有効に使ってほしいと思う。区民の取組を、新住民・旧住民、在勤者、ベッタウンとして江東区に居住している人も含めて情報共有できるような紙面にしていきたい。
- ・また、これは実際に被災してみないとわからないかもしれないが、災害時の対策について協働と参画の視点から考えていきたい。NHKの特集でも取り上げられていたが、災害時の三者一体の体制、これについて見取り図は既にできているということであるが、それが本当に機能するのか。実際にきてみないとわからないということでは困るので、何度もシミュレーションしたりして、地震に対して十分に対応できる体制をつくっておきたい。
- ・最後に、これが大きな問題であるが、区政に対する関心の薄い人をどのように参画させていくかである。未来会議にも区報にも関心のない層をどうとりこんでいくのか。ここ

を解決しないと、新たな一步に踏み出せないような気もしている。この部分は次回議論していきたい。

- ・それから保育ママを区報で募集しているそうであるが、これは実際に利用したい人も登録したい人もいるが、区のPR不足で、両者とも困っているようである。こういう問題の解決を協働・参画で解決していきたい。
- ・いまそれぞれに行われている区民の取組をネットワーク化し、区との協働・参画を充実させていければよいと思っている。
- ・また、実際にボランティア活動をしている人の視点として、現在の区で募集しているボランティア活動の問題点が指摘されている。ボランティアであっても区としての十分な支援体制は必要であろうということである。ボランティアがいきいきと取り組める環境をつくっていくことが10年後の江東区を変えていくのだと思う。
- ・また、協働・参画の仕組みが十分にできた段階では、質の良いオンブズマンも育て、事業の見直し、精査も必要になってくると思う。

4. その他（次回の日程等）

○田中コーディネーター

- ・それでは次回の日程について事務局に調整していただく。

○事務局

- ・前回の日程調整の際に、どうしても討議以外のことをやらないと議論が進まないという状況にならなければ、引き続き討議を進めていけばという話があった。また、本日の発表を伺っていても、各グループとも次回の討議に向けた考え方を提示されていたので、引き続き討議をしていってはどうか。そこで第5回は予め日程調整をしていた12月18日（火）19:00～で開催したい。
- ・今後、3月が最終発表会になるが、そこに向けたスケジュールの概略を説明したい。まず、次回がグループ討議の最終回となり、その後これまでの討議結果を踏まえ、事務局で当分科会の提案書（案）を作成する。
- ・その素案について1月下旬開催予定の第6回で意見交換、修正を行うので、第6回の開催案内に同封する形で素案を送付する。第6回の討議結果を踏まえ、事務局で素案の修正版を作成し、第7回の開催案内にて提示する。可能であればこの段階で他の分科会の素案と合冊の形で提示したいと考えている。
- ・第7回では他の分科会とのバランスも考えながら、最終的に当分科会で提示する報告書を確定させていきたい。第7回には最後の発表会に向けて、代表者を選定し、発表会に向けて準備をしていきたい。
- ・年が明けると区の施設もだいぶ予約で埋まってきているようなので第6回、第7回の開催日程も本日調整したい。本日まで参加の方が最も都合の良い日で確定したい。

一日程調整の結果、

第6回は平成20年1月22日（火）19:00～

第7回は平成20年2月15日（金）19:00～ で開催することとなった。

- ・参考情報であるが、他の分科会で当分科会のテーマである行財政運営・協働に関する議論としては、偶然本日Cグループから提案があったように、第1分科会において「子育て・教育サポーターなどの市民参加制度の創設」「NPO・市民団体の活動を増やしていくような施策・予算増」といった意見が出ている。もう1つは防災の分野で、三者一体となった防災体制の構築という意見が出ていた。

（以上）